

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

ふろタン通信

2023年3月3日 広報センター



No. 46

少し遅れた新春号です！

2023年最初の「ふろタン通信」N0.46は、ふろんていあタウン工房スタート時から広報センターで行ってきた出版事業について新たな取り組みのお知らせです。

今までふろタン工房が出版してきた本は、1冊目がNPO法人の設立手続き中に発行した「フロンティアまちづくり読本」、2冊目が地図のカタチをした日本語版と英語版セットの出版物「御嶽山とビクトリア山」、3冊目が1973年3月の日本住宅公団ワングル同好会誕生から2021年2月のミャンマー軍事クーデターまでを年表にした「ふろタン年表2021」、それぞれ違う雰囲気のある三冊でした。

まずホームページの出版コーナーでは三冊についてどのように紹介しているか見てみましょう。

◆ニュータウン転生レポート 「フロンティアまちづくり読本」

「ふろタン通信」前号の「二都物語研究会」の中でも書きましたが、「フロンティアまちづくり読本」はNPO法人の設立手続き中の2014年2月22日初版発行で最終ページの発行者は、「ふろタン工房」設立準備室になっています。

フツの読み物のようなまちづくりの専門書、日本のニュータウンの歴史を振り返り、ミャンマーの辺境の村の「山と共に生きる地域づくり」を考える本。

「ビクトリア山プロジェクト」ロードマップ（工程表）はこのレポートの中で提案されています。

隣り合う管区と州が手を繋ぎ共に成長する国土計画の夢を「ビルマの縦軸構想図」に描き、本の表紙にも背景のイラストとして載せています。



◆ストーリーマップー語りかける地図ー 御嶽山とビクトリア山

日緬交流型スタディツアーのスタートにあたって作成した「御嶽山」と「ビクトリア山」が表裏一体となって、山を愛する人たち・山と共に生きる人たちに語りかける地図です。

日本の山登りの歴史と様々な登り方・楽しみ方に触れながら、登山地図は山に登る人たちのルートガイドだけでなく、山を愛し森を育て自然を大切にする役割を担っていることを伝える地図のカタチをした物語本です。



◆ふろタン年表2021

1973年3月の日本住宅公団ワングル同好会の誕生からスタートし1993年からの海外遠征登山も紹介、2013年3月のミャンマービクトリア山登山を経て、2014年6月のNPO法人設立に向けた取り組み、活動記録を発信するふろタン通信などを中心に年表にして掲載、最後は2021年2月1日のミャンマー軍事クーデターで終わっています。

◆新出版事業 小説「その日から…」

ふろタン工房スタート時からのメンバーで、東京から北海道に移住し、NPO 北広島森林ボランティア・メイプルに所属して市民の森づくりに取り組み2020年12月のふろタン技研レポートVOL.13を投稿してくれた青柳志朗さん、前年2019年10月に、市民の森づくりをテーマにした小説の原稿と一緒に送られてきた手紙には「主人公が女子高生の妄想小説、第1部が終わりやっと第2部になったところまだまだ続きます」と書かれていました。そしてミャンマー軍事クーデターから1年後の2022年2月1日に青柳さんが逝去され、2023年2月26日のふろタン技研レポートVOL.22は小説出版のことを書いています。

2022年12月1日に青柳さんと娘さんから、志朗さんが書きためた数多くの文章をまとめたファイルが送られてきました。仕事のこと・家族のことなど沢山の想いが書かれた中に「夢」と題した2021年10月9日の日付を書いた文章がありました。これを読んで「第一部」と「第二部」に続く私が待っていた文章を、亡くなる前に青柳さんが「夢」に載せてずっと届けてくれたと思いました。出版準備中です！

